

業務概要	業務詳細
<p>人員</p> <p>業務</p>	<p>班編成 4班 (1班: NTO 1名 + 兵庫 4~5名) 衣類運搬 20名 (ボランティア) (当日の競技役員人数により班編成の変更あり。)</p> <div data-bbox="1077 185 1505 416" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>種目 Long Jump</p> <p>クラス T F 20 男子 法跳</p> <p>1組</p> <p>No. 123 Name: KOBE Taro (自筆)</p> <p style="text-align: center; color: red; border: 1px solid red; padding: 2px;">貴重品 預かり袋 表示例</p> </div> <p><b>FirstCallRoom 準備</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、次の招集に合わせて椅子の配置を整える。</li> <li>2、椅子に腰ナンバーを配布し、座席指定してあることが分かるようにする。</li> <li>3、安全ピン、マスキングテープ (ロゴ消し)、貴重品預かり袋、種目・組カード等を準備しておく。 ※貴重品のみを預かるのはフィールド種目の選手のみ。トラック種目の選手は荷物の中にしまってもらい、かごにいれPECRまで運ぶ。</li> <li>4、次の種目プラカードを準備する。</li> <li>5、水・スポーツドリンクの補充する。</li> </ol> <p><b>FirstCallRoom 業務</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、ゲートで現在招集をしている種目の案内 (電光表示板の操作)、ADの確認</li> <li>2、ADとビブスによる本人確認をする。</li> <li>3、選手ビブス・シューズ・ユニフォーム・所持品・商標ロゴ (⇒ロゴ全体を隠す。一部では×)・アイマスク・アイパッチ・テザー・ガイド (アシスタント) ビブス・ヘルメット・車イスレーサー (車輪・フレーム) のチェック 所持品のチェック (カバンの中も確認する) *携帯電話等持込禁止物があった場合、預かり袋に入れ荷物と共にPECRへ運ぶ。(フィールド種目)</li> <li>4、腰ナンバーの配布・貼付けとチェック (車椅子レーサーの場合、ヘルメット後方へ貼付け) 4-2、MASHの計測を行う。</li> <li>5、ユニホームスタイルになる準備を促し、荷物を衣類カゴに入れるよう指示する。(トラック種目)</li> <li>6、FinalCallRoomへ誘導する。</li> <li>7、衣類・AD・貴重品袋・デイリーチェア (MASH測定選手) 等をPECRへ運搬する。車いす種目はレーサーでファーストコールに入る。</li> <li>8、リクエストフォームの確認、照合→出発係に引き続き</li> <li>9、テザー、アイマスクの貸し出しがあった場合は総務員に無線で連絡→Finish地点で総務員が回収</li> </ol> <p><b>FinalCallRoom 業務</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、ビブス、腰ナンバーの再チェック</li> <li>2、時間になったらスタート地点や競技場所へ誘導し、該当審判に引き継ぐ。*誘導にあたっては選手の状態 (両足義足等) に合わせ速度を調整する。</li> <li>3、ファイナルコールルームからFOPに出る際、マラソングートにかかっている暗幕を選手通過時に開けておく</li> </ol> <p><b>トラック種目 誘導導線</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FinalCallRoomから時計と逆回りでスタート地点まで誘導する。(広告ボードの裏) (正面を通さない。ただし、走幅跳を除く)</li> <li>・車イスレーサーもスタート地点まで誘導し、流しについては出発係に一任する。</li> <li>・隊列: 「プラカード (ボラ) - 選手 - 競技役員1名」</li> </ul> <div data-bbox="1133 1668 1508 1803" style="text-align: center;"> </div> <p>※不測の事態でFOP内からの避難が必要な場合は、マラソングートを通り抜けて競技場外へ避難することになるため、FinalCallRoomの競技役員は東側 (100mスタート側) の暗幕を開ける作業を行う。</p> <p><b>フィールド種目 誘導導線</b></p> <p>トラック種目同様にFOPを通りAゾーン種目は1500mスタート地点から最短距離を、Bゾーンは水郷付近から最短距離を誘導する。走幅跳のみ正面へ誘導する。</p> <div data-bbox="1157 1892 1540 2116" style="text-align: center;"> </div> <p><b>トラック種目 出発地点での物品運搬について</b></p> <p>スタート地点において、義手用パットやメジャー、飲み物等は組ごと・選手ごとにビニル袋にまとめてPECRへ運ぶ。</p>

業務概要	業務詳細
<p>確認事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、アスリートビブス (Name) の再発行はTIC</li> <li>2、スタートリストの発行・プリントアウトはアトスのシステムから競技者係が行う</li> <li>3、ユニホームのデザインは予めWPAに申請したもののみ ※WPAからのデータ共有は要確認</li> <li>4、FirstCallRoomからFinalCallRoomまでの坂道のうち、立位選手の動線は人工芝を敷く。Finalの中も立位選手の動線は人工芝を敷く。FirstCallRoomの床は水平になるよう業者により施工。</li> <li>5、衣類運搬はボランティアに手で運んでもらう。(雨天時も同ルート)</li> <li>6、両足義足の履き替えもFirstCallRoomで行う。(FirstCallRoomからFinalCallRoomへ移動の際、介助が必要となること が想定される。)</li> <li>7、招集時間完了時刻は「9時00」とタイムテーブルに標記された場合、9：00"00</li> <li>8、W－U P 場での招集時間のアナウンスは「W－U P 係」で行う。</li> <li>9、FinalCallRoomからスタート地点までの導線として、F O Pを通る。(広告ボード裏を) 隊列：「プラカード (ボラ) - 選手-競技役員1名」</li> <li>10、アイマスク、アイパッチ、テザーは大会本部が予備を用意する。(ルールでは選手が準備)             <ul style="list-style-type: none"> <li>※忘れたや持っていない、不十分な物などの場合の対応：貸し出す→Finish地点でテザー、アイマスクは回収</li> </ul> </li> <li>11、ガイドランナー、アシスタントのビブスは大会組織委員会が準備する。渡切             <ul style="list-style-type: none"> <li>※事前配布済み→忘れてきた場合は要確認</li> </ul> </li> <li>12、両足義足選手のデイリーチェア (日常生活用) を運ぶ人員が必要な場合がある。</li> <li>13、ペットボトル ラベル等のスポンサー商標の扱いを確認する。アサヒ飲料のみ</li> <li>14、ストレージは投てき台設置係が競技場所まで運搬する。(規格チェックは競技者係)             <ul style="list-style-type: none"> <li>ストレージにナンバーと国名をテプラで貼る。競技種目ごとにシールで色分ける。※選手ナンバーはない。</li> </ul> </li> </ol>
<p>〈工程引継ぎ〉                  出発：                  PECR：                  総務：                  練習会場：                  ストレージ：</p>	 <p>The diagram shows a blue storage bin on a stand. A green label with the number '123' is attached to the front. A white label with the Japanese characters '両足' (Two legs) is at the bottom. Two callout boxes provide instructions: one on the left says '種目ごとに レームの色 変更し、貼 付する。' (Change the lane color by event and attach it.) and one on the right says '使用する選手のナン バー・国名をテプラ で貼る' (Attach the athlete's number and nationality using a thermal transfer printer).</p>

業務概要	業務詳細
1.業務を行うに当たって共通認識を持つ必要がある事項	<p>①スタートリストの確認は紙媒体で行う。アトスが持参する機材にタブレット端末がない。事前に確認が必要。 ⇒なければ記載通り紙媒体で行う。</p> <p>②通訳の配置や自動翻訳機の貸与はない。個人所有の翻訳機や翻訳アプリの使用は可能。</p> <p>③ユニバーサルリレーについては国際大会方式で行う。1走は出発係が、2走・3走及び4走は監察員がそれぞれ業務を行うことになる。</p> <p>④競技者待機所やスタート地点に残された競技者が持参または使用した物品は、出発係が撤去してスタート地点に待機している競技者係に渡すこと。</p> <p>⑤テレビクルーやカメラマン等からの要求は、国際技術委員(ITO)に確認して対応すること。</p> <p>⑥選手の入れ込みについて</p> <p>a) 立位の選手は、競技者係の誘導によりスタート地点まで組ごとにまとまって移動する</p> <p>b) レーサーの選手は、フロアマネージャーの指示によりトラックを順走(左回り)して移動する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「200m」→ 300m流しをした後、スタートポジションにつく</li> <li>・「400m」「800m」→ 100mもしくは500m流しをした後、スタートポジションにつく</li> <li>・「1500m」→ 200mもしくは600m流しをした後、スタートポジションにつく</li> <li>・「5000m」→ 300mもしくは700m流しをした後、スタートポジションにつく</li> </ul>
2.人員配置	<p>①A班、B班の2班体制とする。但し、状況により人員配置を変更する場合がある</p> <p>○A班 主任+班長+班員+NTO      ○B班 副主任+班長+班員+NTO</p>
3.業務開始前の準備	<p>①物品の確認</p> <p>a.スタート用警告カード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○緑、赤/黒のカードが各1枚で1セットになっているか</li> <li>○各班4セットずつあるか</li> <li>※スタート用警告カードの黄/黒は本大会では使用しない</li> <li>※審判長用警告カード(黄、赤、赤/白)は出発係では使用しない</li> </ul> <p>b.トランシーバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スターターとの連絡用各班1台ずつの計2台、出発係内連絡用5台(※スターターと要確認)</li> </ul> <p>c.その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○クリップボード各班1枚ずつの計2枚</li> <li>○メジャー(リクエストフォームによるスターティングブロック設置補助時に使用)各班3個ずつの計6個</li> <li>○油性ペン(ポリ袋にアスリートピブスのNo.記入等で使用)各班2本ずつの計4本</li> <li>○ポリ袋(透明、30Lが1000枚、45Lが500枚、適切なものを検討してLOCで準備しておきます)</li> </ul> <p>②リクエストフォームの有無、その内容確認(フットプレートの角度を指定される場合もある)</p> <p>③班長を中心に、定められた時刻にスタート地点へ移動する</p> <p>a.その際に持参する物品(各班)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スタート用警告カード(緑、赤/黒、種目に応じて2～4セット)</li> <li>○スターターとの連絡用トランシーバー1台</li> <li>○出発係内連絡用トランシーバー(種目に応じて2～5台)</li> <li>○クリップボード1枚</li> <li>○プログラム、筆記用具(油性ペンを含む)、メジャー3個、ポリ袋(透明、30L及び45L)</li> </ul> <p>b.ユニバーサルリレーについては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スタート地点は、出発係が担当</li> <li>○出発係内連絡用トランシーバー2台、スタートリスト、筆記用具(油性ペンを含む)</li> <li>○第2～4コーナーは監察員が担当、配置完了の連絡は監察員の連絡システムで行う</li> </ul>

4.スタート地点(ユニバーサルリレーは各コーナー)での準備業務

①物品の確認

a.スターティングブロック(SIS)の確認(スタート地点のみ)

- 9レーン分の数揃っているか(8レーン分の可能性あり、アトス要確認)
- ネジの緩みや外れ、コードの外れや断線、フットプレート部分のゴムの損傷等の不具合
- 選手持込みのスターティングブロックには技術代表(TD)の使用許可が必要  
リクエストフォームとの照合

b.レーンナンバー標識の確認(スタート地点のみ)

- 「黄」「赤」の表示板の出し入れと破損状況(場合によっては貼り付けるカードを準備・使用)

c.トランシーバー

- 通信環境のチェック

②レーン等の確認

a.スタート位置の確認(ユニバーサルリレーの場合は、スタート地点のみ行う)

- 1人の競技者が2つのレーンを使用するT11及びT12(視覚障害)、ユニバーサルリレーでは、奇数レーンの右側に隣接する偶数レーンに渡ってラインが延長されているか

5.スタートリストの確認

スタートに関する業務

①スタート時のセレモニー(選手紹介等)

- イベントプレゼンテーションマネージャー(EP)が全体をコントロールする

- EPの指令を受けて、フロアマネージャー(板東氏)が現場で対応する

- 出発係は、フロアマネージャーと共に以下の②～⑧の業務を同時進行で対応する

②スタートリストの用紙

- 競技者係が競技者をスタート地点に誘導する際に、出発係に届ける (ユニバーサルリレーの場合には、競技者係が各コーナーの監察員にも届ける)

③ウォームアップ(スタート練習)

- a.ウォームアップ開始時刻になったら、ウォームアップ開始を伝える

- b.ウォームアップエリアの両端に監察員が配置につく

④スターティングブロックの使用の有無

- a.T11～T13(視覚障害)及びT20(知的障害)の競技者は、スターティングブロックの使用は必須

- b.T11の競技者はガイドランナーの分と合わせて、スターティングブロックを2台使用する

- c.T12の競技者はガイドランナーは任意であるために、スターティングブロックの数を調整

- d.その他の立位種目では、スターティングブロックの使用は任意

- 選手の障害特性によっては片側だけ使用するなど、様々なケースがあることに注意を払う

⑤アスリートビブスほかの確認

- a.組ごとのレーン順に、氏名、ユニフォーム、アスリートビブス(胸、背中)、スパイク、腰ナンバー標識(左右の腰)の確認を行う

- 種目によっては、テザー(ガイドロープ)、ガイドランナー及びアシスタントのビブス、アイマスク及びアイパッチ(T11のみ)、ブロックやパッド(腕や手の一部として取り扱われる)、

- TDが使用許可した選手持込みのスターティングブロック等の確認を行う

- レーサー使用の競技者は、アスリートビブス(背中のみ)、腰ナンバー標識はヘルメットの両側に付けているかを確認する

- b.スターティングブロックを使用する種目でガイドランナーを伴う競技者は、「競技者、ガイドランナースタート申告書」で競技者とガイドランナーのスタート位置を確認する

⑥⑤の業務と同時進行で、スターティングブロック及びレーンナンバー標識を設置する

- a.レーンナンバー標識は、スタートライン後方4mのところを設置する

- なお、曲走路においてスタートする種目については各レーンの外側のラインに接触させて、T11及びT12(視覚障害)では2つのレーンを使用するために2つのレーンの中央にそれぞれ設置する。

- b.種目によってはスターティングブロック(SIS)を2台、スターティングブロックの片側だけ、レーンナンバー標識のみ、ブロックを設置しない、など様々であることを理解する

- なお、TDが許可した選手持込みのスターティングブロックを使用する場合がある

- c.レーサー使用の種目の競技者については、競技者がスタート位置に移動してからレーンナンバー標識をスタートライン後方4m50cmから5mのところを設置する

- d.欠場レーンのスターティングブロック(SISシステムの仕様による)及びレーンナンバー標識は設置しない

- ⑦定められた時刻になったら、各レーンに入りスタート練習を1回行うように伝える(種目による)
- 基本競技者はスタート地点に何も荷物を持って来ないことになっているが、もしペットボトルやマスクなどの荷物が残っている場合は待機している競技者係に渡す
  - (1走)出発係準備OK→EPM、スターター主任→選手紹介→スタート  
(234走)監査員が各コーナーで準備OK→監察主任→EPM、スターター主任→選手紹介→スタート  
※出発係が監察員の準備OKの情報をまとめる必要はない
  - 担当者は、競技者が間違いなく決められたレーンに入っているか、アスリートビブスや腰ナンバー標識が外れていないか、などを再度確認する
  - レーサーを使用する周回種目では、トラックを1周してからスタート地点に移動するなど、流しの距離が長くなる場合がある。流しの方法については事前にCD・競技者係と確認が必要
  - リクエストフォームによるスターティングブロック設置に関しては、現場で対応する
- ⑧競技者にスタート練習を1回行ったらスタート位置へ戻るように伝える
- 競技者をスタートライン後方約3mのところと並べる
  - 競技者が並んだら、出発係準備OK→EPM、スターター主任→選手紹介→スタート
- ⑨競技者を各レーンごとに紹介するアナウンスが入る
- ⑩スターターの「On your marks」のアナウンスが入る

- 各出発係が担当レーンのスタートの構えを確認する
    - ・スターティングブロックの使用が任意のクラスでは、スタンディング・スタートでもクラウチング・スタートでも良い。クラウチング・スタートの場合では少なくとも片方の膝をグラウンドに必ず接触させる必要もない
 ↓  
 完了していれば後ろへ大きく2～3歩下がって静止する → → → ⑪の業務へ
  - もし、スタートラインに競技者の手が付いているなど競技者のスタートの構えができていない場合は、その競技者に注意を伝える
    - ↓
    - 注意を伝えても競技者が修正しない場合は、スターターにスタートの構えができていないことを無線で知らせる
    - ↓
    - ⑫の業務へ
- ⑪スターターの「Set」のアナウンスが入る
- スタート後
    - スターティングブロック及びレーンナンバー標識を撤去する(400m、ユニバーサルリレー、用器具係が手伝う)、レーンナンバー標識のみを撤去する(800m)
    - 競技者が使用したパッドやメジャー、持込みスターティングブロックなどは、次のレースの妨げにならないようにトラックの外へ撤去して待機している競技者係に渡す。
 ※この際に、どの選手のものであるかわかるようにするため、ポリ袋(透明、LOCが準備)に、種目・組・レーンを記入し、競技者係に渡す。
    - ↓
    - 同じ種目が続く場合はレースが終了次第、→ → → ⑥の業務へ戻る
    - 最後の組のレースが終了した場合は → → → 6.スタート後の後片付けの業務へ
  - 何らかの理由でスタートできなかった場合
    - ↓
    - ⑫の業務へ
- ⑫スタートをやり直す場合
- スタート審判長、国際スターター、スターター、スタートコーディネーター、出発係主任で事象を迅速に協議し判断を下す
- ↓
- 出発係主任からトランシーバーまたは口頭で各出発係に連絡する
- ↓
- スターターがマイクを通してスタートがやり直しになった理由を伝える。担当者は、該当するカードを提示する。その際カードは自分の頭より高い位置に掲げる
- ※なお、SISを使用する競技において不正スタートを告げられたことに対して直ちに現場で抗議(競技中の抗議)をした場合にスタート審判長が「抗議中」として競技することを認めた場合は、競技者に対してスタート審判長が赤/白カードを提示する
- ↓
- ⑩の業務へ戻る

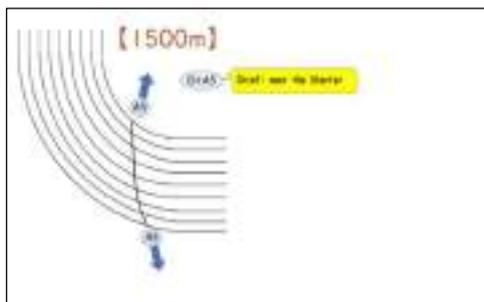
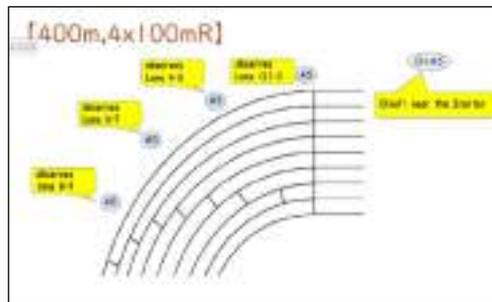
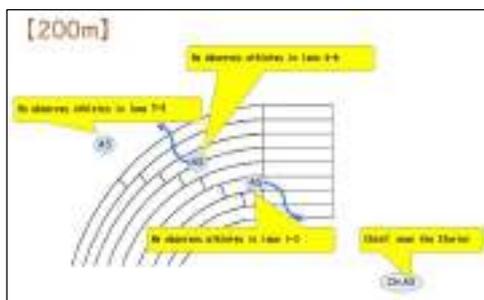
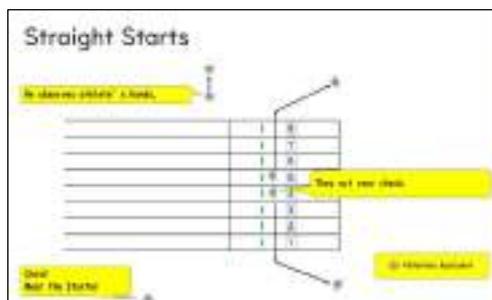
6.スタート後の片付け

①スターティングブロック(SIS)及びレーンナンバー標識を撤去

→ 100m、200m、400m、ユニバーサルレー(用器具係が手伝う)

800mについては、レーンナンバー標識のみを撤去する

②撤去したそれぞれの物品を所定の場所に戻す



〈態勢〉

ITOs :

NTOs : 山本雅典

volunteer :

〈工程引継ぎ・連絡先〉

スターター :

監察員 :

EPM :

用器具 :